

# いずみ 市議会 だより

## かけはし

K A K E H A S H I

- 発行 / 出水市議会
- 編集 / 出水市議会広報広聴特別委員会
- 発行日 / 令和6年5月16日

〒899-0292 鹿児島県出水市緑町1番3号

TEL 0996-63-4074

FAX 0996-63-1155

ホームページ <http://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/>

令和6年【2024】

### 第72号

3月定例会



出水市議会ホームページ

### 第1回（3月定例会）

令和6年度当初予算

陳情

表決一覧

委員会審査

### 一般質問

15人が市政を問う

P 2

P 3

P 4

P 5

P 6



肥薩おれんじ鉄道と桜（令和6年4月1日 野田郷駅）

# ～明るくまっすぐな安心できる～ 市政の実現へ

令和6年度  
予算総額

# 518億3,471万円

## 議会中継システム更新事業

### 329万4千円

安定した中継及び配信を実現し住民サービスの向上を図るため、本会議のライブ中継及び録画を配信するシステムを更新



## こども家庭センター設置事業

### 1,421万8千円

全ての妊産婦、子供、子育て世帯へ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を設置。令和6年度は、センターに必要な人員を配置し、情報連系のためのシステムを構築する。



## マルマエ音楽ホール空調設備改修事業

### 9,000万円

建設から31年経過し老朽化した空調設備の改修



## 野田地域活性化施設整備事業

### 872万8千円

旧野田支所跡地に、雨天時でも利用できる屋根付き広場を整備

### 一般公計に対する討論

#### 反対

市政が4割近い非正規職員で運営されていること、国の軍備強化の中で本人の承諾なしに18歳と22歳の名簿が自衛隊に提供されていることは問題である。鳥インフルエンザ対策は、ハエ対策への見直しを図るべきであること等を指摘して反対する。

中嶋 敏子

野田地域の過疎化の解消を図るため、野田支所跡には住宅を造り、住宅の整備を進めることが重要と考える。騒音等の懸念材料もあるため野田地域活性化施設整備事業には反対である。

吉元 勇

#### 賛成

歳出において、AIオンデマンド交通運行経費、高齢者世帯へのごみ出し支援などが計上されており、歳入でも各種事業の実施における国庫補助金及び市債等の財源確保ができていくことから、健全な財政状況が保たれているため賛成する。

池田 幸弘

内水面漁協に対する補助金が計上されている。広瀬川漁協に対し、多くの市民の生命財産を守るために議会も市長も引き続き毅然とした態度を続ける必要がある。

宇都 修一

特別会計に対する討論

国民健康保険特別会計

反対

高すぎる国保税を誰でも払える金額に引き下げのため、国の負担割合を元に戻すよう要望するべき。本予算にはその取組がない。

中嶋 敏子

介護保険特別会計

反対

市民アンケートでは、介護保険料、利用料の軽減を求める声が多く寄せられている。国に対し公費の増額を求めると同時に市独自の取組が求められる。

中嶋 敏子

後期高齢者医療特別会計

反対

保険料や医療費軽減のため、財政安定化基金の活用や国・県の財政支援を強く求める。高齢者医療の在り方について抜本的な見直しを求め反対する。

中嶋 敏子

賛成

介護保険のおかげで、デイサービス、訪問看護等を利用しながら自宅介護ができる。介護保険が長く続くよう、介護に頼らない体づくりをしながら介護保険を支えていかななくてはならない。

吉元 勇

企業会計に対する討論

水道事業会計

反対

今年10月からの水道料金の値上げが含まれた予算となっているため反対する。

中嶋 敏子

賛成

水道は公営企業である。適正な料金にして自らの経営をしっかりと成り立たせなければならぬ。料金値上げはやむを得ない。

池田 幸弘

下水道事業会計

反対

下水道料金の値上げが含まれた予算となっているため反対する。また、市民に負担増を求めるのであれば、歳出の厳格な検証・見直しが必要と考える。

中嶋 敏子

陳情

不採択 川内原発20年延長に関する陳情書

◎陳情者 打上 良子

賛成少数

●主な趣旨

- ・ 震度6弱以上の地震が起きないという完全な保証がない限り、川内原発の20年運転延長に対する決議をあげてほしい。
- ・ 鹿児島県、薩摩川内市、九州電力、原子力規制委員会へ、20年延長に関する各種決定の白紙撤回を求めてほしい。

◆陳情に賛成の立場で (中嶋敏子議員)

1度重大事故が起これば地域社会が崩壊する。原発のない日本は、福島事故の教訓であり、多くの国民の共通した願いである。勇気を持って陳情者の思いに応えるべき。

(吉元勇議員)

今の時代を豊かにするために、核のごみだけ増えることを考えると、原発延長に疑問を持つことも重要である。

◆陳情に反対の立場で (鶴田均議員)

出水市では、九州電力に対し、安全を第一とした取組を強く求めてきた。科学的知見をもって20年延長の許可が出ている。総合的に判断し、この陳情に反対する。

不採択 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情

◎陳情者 福田 里美

賛成皆無

●主な趣旨

職員が庁舎内で政党機関紙を勧誘されたり、心理的な圧力を感じたという実態がないか調査・確認するよう行政に求めてほしい。心理的圧力を受けた職員がいた場合は、適切に対応してほしい。

◆陳情に反対の立場で (中嶋敏子議員)

どの政党機関紙であろうが、広範な国民に進めることは憲法が保障する正当な政治活動である。購読する職員にとっては、個人の思想信条の自由、内心の自由の問題でこれに制限を設けることは許されないことと考える。

(吉元勇議員)

陳情の内容は、実態が本当でないかを調査して欲しい、行政に求めて欲しいということであるが、委員長報告にもあったように、調査は済んでおり、この項目に対しては必要ないという判断である。

## 表決一覧

議案番号	議案名	採決結果
同意第1号	出水市教育委員会教育長の任命について	賛成16 反対1 同意
同意第2号	出水市監査委員の選任について	賛成16 反対1 同意
同意第3号	出水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成17 反対0 同意
同意第4号	出水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成17 反対0 同意
同意第5号	出水市固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成17 反対0 同意
意見第1号	人権擁護委員候補者推薦の意見を求めることについて	賛成17 反対0 異議なし
意見第2号	人権擁護委員候補者推薦の意見を求めることについて	賛成16 反対1 (うち白票1) 異議なし
意見第3号	人権擁護委員候補者推薦の意見を求めることについて	賛成17 反対0 異議なし
議案第19号	出水市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第22号	出水市ひとり親家庭等医療費助成条例及び出水市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第24号	出水市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第25号	出水市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第26号	出水市いずみみらい基金条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第27号	出水市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第28号	出水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第29号	出水市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第32号	出水市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第34号	出水市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第12号	令和5年度出水市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	全会一致 原案可決
議案第13号	令和5年度出水市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全会一致 原案可決
議案第14号	令和5年度出水市介護保険特別会計補正予算(第5号)	全会一致 原案可決
議案第15号	令和5年度出水市水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致 原案可決
議案第16号	令和5年度出水市下水道事業会計補正予算(第4号)	全会一致 原案可決
議案第17号	令和5年度出水市病院事業会計補正予算(第4号)	全会一致 原案可決
選挙第1号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	松元正明氏17 柴立豊子氏3 迫 彰雄氏0
陳情第1号	川内原発20年延長に関する陳情書	賛成少数 不採択

議案番号	議案名	採決結果
陳情第2号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	賛成皆無 不採択
議案第18号	出水市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第20号	出水市監査委員条例及び出水市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第21号	出水市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び出水市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第35号	出水市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第30号	出水市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第23号	出水市水道事業給水条例及び出水市公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第31号	出水市地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第33号	出水市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第36号	出水地区地域活性化施設等取付工事委託に関する基本協定の締結について	全会一致 原案可決
議案第11号	令和5年度出水市一般会計補正予算(第12号)	全会一致 原案可決
議案第6号	令和6年度出水市交通災害共済特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第10号	令和6年度出水市病院事業会計予算	全会一致 原案可決
議案第3号	令和6年度出水市国民健康保険特別会計予算	賛成多数 原案可決
議案第4号	令和6年度出水市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数 原案可決
議案第5号	令和6年度出水市介護保険特別会計予算	賛成多数 原案可決
議案第2号	令和6年度出水市一般会計予算	賛成多数 原案可決
議案第7号	令和6年度出水市地方卸売市場特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第8号	令和6年度出水市水道事業会計予算	賛成多数 原案可決
議案第9号	令和6年度出水市下水道事業会計予算	賛成多数 原案可決
議案第37号	出水市税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第38号	財産の取得について(教師用指導書等)	全会一致 原案可決
発議案第2号	出水市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	全会一致 原案可決
発議案第3号	出水市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
	議員の派遣について	可決

# 常任委員会審査

## 総務病院 委員会

( 予算 )

○一般会計

**A | オンデマンド交通運行経費 (くらし安心課) 1,355万8千円**

公共交通空白地域の解消と利便性の向上が期待される。高尾野、野田地域にある商業施設や医療機関などに協賛をお願いし、その場所に停留所を設置して利用できるよう、エリアスポンサー制度を導入予定。

**野田地域活性化施設基本構想等策定事業費 (企画政策課) 872万8千円**

旧野田支所跡地に、雨天時でも利用できる屋根付き広場を整備するための基本構想・基本計画を策定する経費。

○病院事業会計

医師30名で医業収益の確保が見込まれ、高尾野と野田診療所においては、訪問診療等の取組もあり、全体で60億7,796万2千円の予算で健全な経営を図る。



**病院事業創立100周年記念事業 (医療センター総務課) 500万円**

令和7年3月に創立100周年を迎えるにあたり実施する記念事業費。

## 文教厚生 委員会

( 予算 )

○一般会計

**学校施設バリアフリー化整備計画等策定事業 (教育総務課) 530万円**

小中学校の施設のバリアフリー化を推進するため、施設内及び敷地内の導線等調査及び浸水想定区域内にある学校の水害リスク調査を行う。

**高齢者等ごみ出し支援事業 (いきいき長寿課) 55万円**

高齢者や障害者等でごみ出しが困難な世帯の在宅生活を支援するため、ごみ出し支援制度を新たに設ける。

**中学生海外派遣学習交流事業 (学校教育課) 130万円**

オンラインで学習交流を行っている海外の学校を訪問し、学習交流や学校生活体験、スポーツ交流などを通じて他国の文化を知り、国際感覚を磨くことにより外国語教育の充実及び国際社会で生きるグローバルな人材の育成を図る。



# 常任委員会審査

## 産業建設 委員会

(予算)

○一般会計

**林道維持補修費（農林水産整備課） 2,035万1千円**

林道蕨島線の終点部付近に遊歩道等を整備するための実施設計を行うほか、林道の舗装工事、路面修繕、除草等をする経費。

**街路樹管理費（建設政策課） 458万円**

特攻碑公園周辺桜植替業務委託ほか各業務委託の経費。特攻碑公園周辺桜植替については、約200本ある桜のうち、約100本を令和6年度からの3年間で植え替えを行い、植えたものがある程度大きくなった後、残りの約100本を植え替える予定。



**ツルのまち童話大賞作品絵本出版経費（ツル博物館） 125万円**

令和5年度に実施した「ツルのまち童話大賞」において、一般の部で大賞を受賞した作品を絵本として出版する経費。

## 一般質問

## 15人が市政を問う



たかさき まさかず 議員  
高崎 正風 議員

**人口減少対策の目玉の施策はあるのか**

「3つの安心」に基づき施策を推進している

**問** 人口減少で旧野田町は国の過疎地域の指定を受けた。本市の現状は、人口減少は鈍化しているものの、これから団塊世代の高齢化が急速に進展し死亡率が高く、一方、未婚者や子育て不安、経済的不安等で出生率の低下が進み、ますます人口減少が加速されることになる。こうしたことから、行政だけでなく

市民と一体となった人口減少対策を最優先し、待ったなしの課題として取り組まなければならないと考える。そこで、人口減少対策の目玉となる施策はあるのか伺う。

**答** 本市独自の人口減少対策について、人口減少対策は多岐にわたる取組が必要であると考えている。政策の柱として掲げている「3つの安心」に基づき各施策を推進している。主な取組としては、市外から転入し、新たに住宅を取得した方を対象に最大で100万円の補助、18歳までの医療費の自己負担全額の助成、小中学校等の給食費の第3子以降の無償化を行い、安心して暮らし、産み育てるこ

とのできる安全・安心のまちづくりに取り組みんでいく。

**集落支援員を  
設置する考えは**

必要性を  
検討していく

**問** 住民との対話を重ね、それぞれの課題を取り上げることから、集落への「目配り役」として、総務省が進めている「集落支援員」を設置する考えはないか伺う。

**答** 地域実情に詳しく集落対策の推進に関して知見を有する人材が必要である。まずは、自治会連合会等に必要性などの意見を伺い検討していく。



なかじま としこ 議員  
中嶋 敏子

**鳥インフル、ハエ  
対策に見直しを図れ  
今後の調査・研究  
を注視していく**

**問** 鳥インフル感染、  
今期の発生状況を伺う。

**答** 本市では、12月3  
日、1農場で確認され、  
翌4日には防疫措置を  
完了した。

**問** 感染経路とこれま  
での対策を伺う。

**答** 原因については特  
定に至っていない。感  
染対策として消毒液噴  
霧装置やフィルター設  
置の飼養者に購入費用  
を助成。ため池の水抜

き等、野鳥対策を講じ  
ている。

**問** 国立感染症研究所  
等が感染経路にオオク  
ロバエが関与していると  
指摘している。これ  
に対する認識を伺う。

**答** それは承知してい  
る。

**問** これまでの研究で  
防疫対策として使用し  
ている大量の石灰は、  
クロバエ類の分散を助  
長して感染を広げてい  
ることを明らかにして  
いる。対策の見直しが  
必要ではないか。

**答** 研究成果等が国の  
防疫指針や衛生管理基  
準に反映されるか注視  
していきたい。

**国道328号紫  
尾トンネル(仮  
称)整備を問う  
経済効果・安心安全  
な交通網の構築策**

**問** 降雪時通行不能に  
なった日数、北薩横断  
道路との整合性を問う。

**答** 通行止め件数は、  
ここ10年で4件。整合  
性については、緊急時  
における北薩横断道路  
とのダブルネットワー  
クが構築できる。

**問** さつま町に整備計  
画中の弾薬庫との関連  
はないか伺う。

**答** 関連性は全くない。

**その他の質問**  
○「スポーツ合宿」に  
ついて



つちや こうきち 議員  
土屋 工吉

**西回り自動車道開通  
後を見据えた資源を  
検討・協議して、  
組んでいきたい**

**問** 今回の私の目的は、  
西回り自動車道開通後  
を見据えた多様な産業  
の質問である。おれん  
じ鉄道と並行した水俣  
市袋駅から阿久根駅を  
利用し、海岸線を生か  
した「サイクリング  
ロード」は考えないか。

**答** 西回り自動車道開  
通後の交通量を勘案し  
ながら、出水市サイク  
ルツーリズム協議会な  
どの関係者や近隣市町  
と検討したい。

**問** 福ノ江海水浴場の  
再開はできないか。

**答** 海岸の整備にも相  
当の費用を要すること  
から、現時点では難し  
い。

**問** アサリやマテ貝の誘  
放流による観光客の誘  
致は、どう考えるか。

**答** アサリは北さつま  
漁業協同組合の漁業権  
が設定されており、漁  
協との協議が必要であ  
る。

**問** 西回り道開通後に  
「道の駅」周辺に、  
オートキャンプ場の開  
設は。

**答** 米ノ津東地区に整  
備している道の駅周辺  
において、民間事業者  
が景観を生かしての宿  
泊施設等の事業を行う  
ことも考えられるため、

積極的に取り組んでい  
きたい。



福ノ江海岸のハマヒルガオ



福ノ江海岸の干潟の状況



福ノ江海岸の松並木



あゆかわ こういち 議員 鮎川 浩一

**災害に対して  
備えは十分か**

市として  
それぞれの地区に  
備蓄している

者はあるか。

**答** ①鹿児島県ホテル旅館生活衛生共同組合出水支部（宿泊場所、食事）。株式会社デベロップ（宿泊場所）。②他の地方公共団体、出水商工会議所、鶴の町商工会、NPO法人がある。

**問** 備蓄について、①備蓄はどんな種類があるか、数はどれぐらいあるか。②備蓄している場所は何か所あるか。③女性用生理用品、乳幼児用品は備蓄されているか。④避難所で介護者の受入れの場合、車椅子、プライベートルーム、簡易トイレは備蓄してあるか。

**問** 令和6年能登半島地震のような場合、情報伝達手段はあるか。

**答** 防災行政無線、市公式LINE、防災メール、市ホームページ、MBCデータ放送、ヤフー防災メール、Lアラート等がある。

**問** 災害応援協定の締結状況で、①避難者を収用できるホテルはあるか。②食料・飲料など市が提供を受ける業

ル）1856本を市内24か所の避難所に分散して、非常食1500食を備蓄倉庫で集中管理している。③女性用下着、生理用ナプキン、おしりふきを備蓄。④

段ボール間仕切り、段ボールベッド、車椅子等を配備している。

**問** 災害ごみなどの収集場所は計画されているか。

**答** 公園や駐車場など市有地8か所を選定している。

**問** 仮設住宅の予定地は計画されているか。

**答** 建設候補地25か所、建設可能戸数1069戸計画している。

**その他の質問**  
○農業（水稲）の課題について



たなか しゅういち 議員 田中 秀一

**市民プール改修後の  
有効活用**

指定管理者制度など今後幅広く検討

**答** 建設から30年以上経過したことから、健全度調査を行い、約2億6千万円かけ、天井脱落防止など劣化を改修し耐用年数80年を目

標とし、有効活用策を幅広く検討する。令和4年度は2万331人が利用し、専用は全面使用3回、一部使用12団体。会議室利用14回。アンケート投函数15件。個人は一時使用、定期使用があり、1回2時間以内となっている。指定管理者は公募予定。普通救命講習を受け安全に取り組んでいる。職員体制は施設責任者の所長が文化スポーツ課長、主任3人、監視員4人、パート3人である。

**問** 改修工事の概要と活用計画として、「内容」「事業費」「経緯」「耐震強度と耐用年数」「有効活用の方針と計画」。施設の利用と活用状況として、「利用者数」「使用料と時間」「専用使用した団体数」「会議室の活用状況」「常設アンケート内容」。管理運営状況として、「指定管理者導入計画」「安全対策」「責任者と職員体制」について伺う。

**問** 改修工事の概要と活用計画として、「内容」「事業費」「経緯」「耐震強度と耐用年数」「有効活用の方針と計画」。施設の利用と活用状況として、「利用者数」「使用料と時間」「専用使用した団体数」「会議室の活用状況」「常設アンケート内容」。管理運営状況として、「指定管理者導入計画」「安全対策」「責任者と職員体制」について伺う。

**学校プールの  
現状と在り方**  
老朽化しても工夫  
し水泳授業は継続

**問** 水泳を授業に取り込む意義をどう考えるか。また、現在の各校のプールの有無と活用状況及び老朽化の状況。学校プールの維持管理にかかる経費と教職員等の負担の状況、及びプール活用に関する今後の取組をどう考えているか。

**答** 水泳は身体能力を身につけ、安全に関する知的な発達を促す。また、水の事故を未然に防ぐ論理的な思考力を育む。小中学校ほか全20校のプールのうち16校が50年以上経過し、維持管理に多額の経費がかかる。教職員は清掃や給水、各検査を行う。老朽化等で使用できない場合、モデル事業として、他校や市民プールを利用する。現時点では、学校でのプール授業をなくさないよう考えている。

**問** 水泳を授業に取り込む意義をどう考えるか。また、現在の各校のプールの有無と活用状況及び老朽化の状況。学校プールの維持管理にかかる経費と教職員等の負担の状況、及びプール活用に関する今後の取組をどう考えているか。





吉元 勇 議員

消防団活動の軽減

操法大会練習も含め負担軽減に取り組む

問 消防団活動は緊急出動や行方不明捜索など負担が多い。操法大会の練習も負担な状況もあり、団員確保のためにもこのことを含め活動の負担軽減の考えはあるか。

答 負担軽減の取組は辞令交付式での規律訓練の廃止による練習の短縮、新入団員研修や備品点検、年末夜警の日程時間短縮を図っている。操法大会については、県大会がない年

は本市の大会も実施しないなど、消防団と協議しながら実施していく。

◎消防団の現状

(R5・4)

- ・消防団の数 第1分団～第11分団で25部
・消防団員数と平均年齢 429人、43・5歳
・消防団員定員に対する充足率 97・1%
(県内の市町村では第2位の高さ)

市議会議員の定数削減

議会側で検討すべきものと考ええる

問 議員定数削減での財源を子育て支援や福祉施策に充てることができる。定数削減を議会内で申してきたが、

同意は少数であった。定数削減を市長が提案してはどうか。

答 議員定数の在り方については、議員や議会全体にとって重要な事項であり、市民にも大きな影響がある。財源の確保の観点での議論ではなく、市議会の方で自主的に検討されるべきものと考ええる。

◎過去の定数削減

- ・平成22年4月 30人→26人へ
・平成26年4月 26人→24人へ
・平成30年4月 24人→20人へ

その他の質問

○麓公開武家屋敷の安全を考慮した見せ方について

○野田地域活性化施設整備事業について



鶴田 均 議員

国際農業漁業大学の設置

サテライトキャンパスを勉強したい

問 出水市及び出水地区は八代市から薩摩川内市の中間に位置しており、国際農業漁業大学があってもおかしくない。大学を設置した地域は経済の発展、雇用対策、人口対策等に最も魅力的で若者たちが学び、集う街になると思うが、出水地区2市1町で協議することはできないか。

以前、市長はサテライトキャンパスの考え方を示されたが、姉妹都市である台湾の大学

の可能性を調査されたらどうか。

答 大学誘致となれば、社会基盤整備など課題も多く、財政的にも負担が掛かるものである。出水地区2市1町で集まる機会があるので、話はしてみたい。

姉妹都市である台湾の埔里鎮にある暨南大学は、議員の言われる国際農業漁業大学の構成と同じようなことかなと思うので、少し勉強してみたい。

肥薩おれんじ鉄道の新駅の設置

経営に関わることであり、確認が必要

問 出水市の繁華街本町通り、飲食店街川端通り、そして、伝統的文化財の麓武家屋敷に近い駅として、中央町踏切付近に新駅の設置

が可能であれば、昔のように出水市の本町の繁華街に活気が生まれと思うが何う。

答 おれんじ鉄道の経営に関わる新駅建設がこのタイミングとして、そもそもいいものか、それらを沿線自治体も含めて、県、おれんじ鉄道本体も含めて確認しなければならぬ。試算等もできておらず、まずは、そういったところの機運の盛り上がりと財源的問題を確認しながら取り組むときはやらなければならないと考ええる。



おれんじ鉄道中央町踏切付近



うと しゅういち 議員  
宇都 修一 議員

**広瀬川漁協を許してはいけない**

命をかけてやり抜く

**問** 広瀬川漁協理事への刑事告発詳細を問う。同漁協の保全会や土地改良区への攻撃は農家全体への攻撃である。施工業者等の漁協事務所での説明はやめるべきである。漁協が受け取ってきた協力は把握しているか。東日本大震災で崩れたダムがあるのに、漁協は協力を盾に高川ダムの耐震調査をさせていないのではないかと、市民を危険にさらしている漁協を許してはい

けない。



高川ダム

**答** 2月9日に保全会への威力業務妨害の疑いで刑事告発した。保全会や土地改良区に対する攻撃は市全体の農業活動の妨害につながるもので看過できない。

協力は直近の平成28年度から令和4年度の7年間で3156万円。施工業者等の説明は市庁舎で行い、保全会で行われるのは漁協の同意は基本的に不要と考えている。

出水市の一番の課題はこの問題だと考えている。私は命をかけてやり抜く。

**教育現場におけるデジタル化の推進**

デジタルの日常化を図る

**問** タブレットの活用はどうか。ペーパーレスは行うか。今後の考えは。

**答** 全ての児童・生徒に配布し、海外や県外の学校との交流に活用し、子供たちは生き生きと授業に参加し、学習効果も高まっている。現時点では、紙の良さもあり、完全ペーパーレスは行わない。今後はデジタルの日常化を図っていく。



オンライン交流会 (江内小学校)



いずみ むつお 議員  
出水 睦雄 議員

**漁場再生事業を進めるべき**

漁協と協議していく

**問** 漁業者や漁獲高が減少。実態は。船橋市ではアサリの再生事業に取り組み、碎石の覆砂や耕うんで成果を上げた。漁業活性化のため、水質・環境調査を行い、稚貝の放流や藻場の再生・育成で早く再生事業を進めるべきである。

**答** 令和4年度で組合員数94人、漁獲高2億6千万円で共に減少。北さつま漁協で水産多面的機能発揮対策事業

で海底の耕うん・砂浜の清掃を行っている。アサリ漁は、漁業者が現在いないことから放流していないが、令和4年度から天然採苗の試験をしている。漁礁・藻場の現状把握のため、水中ドローンで実施予定であり、結果を参考に今後について漁協と協議していく。

人の利用であった。海水浴場は、砂の流出を止められなく平成15年閉鎖、ウォーター 슬라이ダーは平成29年に老朽化のため撤去した。再開・再設置には相当の費用を要する。公園施設の在り方の検討を行い、活用に向け市民の皆様の意見を伺い、民間事業者との対話を進め、方向性を検討したい。

**櫛木海洋公園・プールの活性化を費用が多大。市民の意見や方向性を検討**

開園時には砂浜で海水浴やバーベキュー、プールにはウォーター

スライダーがあり、にぎわいがあった。海水浴場・スライダーの再開や現在の利用状況と活性化に向けた考えは。

**答** 開業時は4万人だったが、今年度3千



櫛木海洋公園のプール

○ラムサール条約やラムサール条約湿地保全・活用計画とツルの観光について



すぎもと なおき 議員

**災害時の情報収集の  
在り方は**

情報を整理集約し  
迅速な対応を図る

**問** 災害時において市民の生命財産を守る観点から、被災現場の迅速かつ正確な情報収集が求められる。停電等により携帯電話の基地局が機能せず携帯電話が不通となった場合、アマチュア無線での情報収集手段を備えておくべきと考えるが、市長の見解を求める。

**答** アマチュア無線の活用については出水市地域防災計画において連絡手段としてその有

効性について認めている。アマチュア無線利用者との連携を図るため、市内の利用者等について調査する。またドローンによる映像伝達により、孤立した集落等の情報を整理、集約し迅速な対応を図る。

**公立中学校部活動  
地域移行の進捗は**

本市の実情に合った  
取組を検討する

**問** 中学校3年間は義務教育課程において将来への進路や目標設定に極めて重要な時間であり、生徒を育んできた一つが部活動である。昨今の少子化や教職員の働き方改革の進展を理由にスポーツ庁が進めている公立中学校部活動を学校から切り離して地域に移行する制度について、本市の取組状況を伺う。

効性について認めている。市スポーツ協会理事長・市文化協会会長・市PTA連合会代表・地区中学校体育連盟会長などに委員として委嘱し協議会を設置している。今年度8月と10月に協議会を開催し、地域移行の基本的な考え方や今後のタイムスケジュール、具体的な活動体制や形態などについて協議を行っている。先行自治体においても組織づくりや人材確保等、様々な課題があり、それらを考慮しながら出水市の実情に合った部活動地域移行を検討している。

**答** 部活動地域移行について、市スポーツ協会理事長・市文化協会会長・市PTA連合会代表・地区中学校体育連盟会長などに委員として委嘱し協議会を設置している。今年度8月と10月に協議会を開催し、地域移行の基本的な考え方や今後のタイムスケジュール、具体的な活動体制や形態などについて協議を行っている。先行自治体においても組織づくりや人材確保等、様々な課題があり、それらを考慮しながら出水市の実情に合った部活動地域移行を検討している。



えがわの かずなり 議員

**アーティスト・イン  
レジデンス事業の  
検討は**

地域の活性化に  
つながる

**問** 国内外からアーティストを一定期間招聘することで、地域振興や地域の活性化といった要素が目的に加わって、アーティストの考えを知ったり、創造のプロセスに市民が参加するなど、日頃から芸術に触れることが少ない市民にとって新たな道が開ける。本市の麓地区の空き家を活用したアーティスト・イン・レジデンス事業を検討される考えは。

アーティストの方々が様々な交流を通じて創作活動などを行い、地域との新たな交流や市民が文化芸術に触れる機会が創設されることで、地域の活性化につながるものと考えている。麓地区は、様々な制約があることから課題も多い。そのような方からの定住等につながる相談があれば、地域の皆様の御意見もお聞きしながら対応する。



麓地区の空家

**答** アーティストの方々が様々な交流を通じて創作活動などを行い、地域との新たな交流や市民が文化芸術に触れる機会が創設されることで、地域の活性化につながるものと考えている。麓地区は、様々な制約があることから課題も多い。そのような方からの定住等につながる相談があれば、地域の皆様の御意見もお聞きしながら対応する。

**植木産業振興促進  
する考えは**

新たな取組が  
できないか協議  
したい

**問** 本市の植木は苗木から庭園木、多種多様な品種など、あらゆる需要に応じられる生産性を有しているが、需要の減少などにより経営悪化となっている。次世代を担う青年層の将来に夢と希望を抱けるような産業に発展させることが急務である。本市の根幹をなす植木産業を振興促進する考えはないか。

**答** 植木の購入を促進するため令和2年度から植木市での植木購入費の1割補助、運搬及び植え込み経費の3割補助を実施している。また、生産に必要な機械購入費の5割を補助しているが、今後も植木に関わる方々と新たな取組ができないか協議していきたい。



みなみ たくし ひろし 議員  
南 鶴 洋 志

**高架下の地域資源を有効活用できないか  
地元の意向を把握した上で国へ相談する**

**問** 南九州西回り自動車道の高架下を公園やウォーキングや運動の場として活用されることで、地域全体の健康水準の向上、グラウンドゴルフ場等や地域施設に有効に活用することで、地域の活性化が期待される。住民の憩いの場となり、地域コミュニティの結束を強化されるのではないかとと思う。行政として高架下の地域資源を最大限に活かすような考えはないか。

**答** 地域住民のコミュニケーションの場として利用することについては、以前から地元自治会から要望があったので本自動車道を整備している八代河川国道事務所に伝え、国からも前向きに検討している。ただし、占用ができるのは供用開始後となることから、事業進捗を注視し、地元意向を把握した上で国へ相談していく。



建設中の南九州西回り自動車道

**高齢者すこやか入浴券補助額の見直し  
他の支援制度も含め  
総体的に検討する**

**問** 市内の多くの公衆浴場入浴料金が値上がりし、自己負担額が増えている。水道料金の値上げも計画されている。高齢の方の楽しみであり、光熱費高騰で銭湯ならお湯に浸かれるといった切実な現状に対応できていないのではないか。補助額の見直しはできないか。

**答** 他市の状況を踏まえた上で、他の支援制度も含め総体的に検討する。

**その他の質問**  
○自主財源の確保について  
○耕作放棄地の活用について



いまい けんいち 議員  
井伊 健一

**災害備蓄品及び避難所運営  
必要なものは  
調査研究していく**

個人でのローリングストックを啓発している。避難が長期化する場合は、災害用応援協定に基づく、緊急調達、輸送により対処する。今後、備蓄が必要と思われるものについては、調査研究していきたいと考える。

**問** 令和6年能登半島地震が発生し、2か月が経過した。地震などの災害時に避難生活を送る女性や妊産婦、乳幼児向けの用品について全国の自治体で備蓄が進んでいないことが内閣府の調査で分かった。

**答** テントと間仕切りを合わせて1ー1セットを保有している。主な避難所39か所には配備してある。

**その他の質問**  
本市で備蓄されていない女性や妊産婦、乳幼児用品を今後、備蓄する予定はあるか。  
**答** 発災直後においては原則として自動による購入については

**問** 一次避難所になる学校の屋内運動場（体育館）に個室で着替えのための更衣室が設置できる体制になっているか。

**答** 導入費用や導入後の維持管理を考慮すると難しい。体拭きペーパー、水を不要とするシャンプー等の衛生用品の活用による対応を。調査研究はしたいと考える。

**問** トイレトレーラーを緊急減災・防災事業債を活用して導入できないか。  
**答** 購入については

様々な財源措置を講ずればできると考えるが、維持管理経費を考慮すると導入は難しい。  
**問** 災害が発生し、1か月ぶりに風呂に入ったといった話もある。衛生上の問題、感染症を考えると体によくない。水循環式シャワーを導入できないか。  
**答** 導入費用や導入後の維持管理を考慮すると難しい。体拭きペーパー、水を不要とするシャンプー等の衛生用品の活用による対応を。調査研究はしたいと考える。

**その他の質問**  
○小中学校の屋内運動場のエアコン設置について  
○擬石ボラード（車両侵入防止ブロック）の変更について



きたみかど のぶひこ 議員  
北御門 伸彦

人生百年時代  
への対応

介護予防に重点を  
置いて進める

**問** 当初予算の中に「人生100年時代」という説明があった。国からの指針もあるかと思うが、特に福祉分野で人生設計見直しの時期が近づいていることを念頭に、これから変化する福祉行政について、取り組む観点について問う。

**答** 市として高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができることを目標に元気な高齢者を増やしていくた

め、介護予防に重点を置いて取組を進めていく。

地震対策  
(要支援者の避難)

自主防災組織での  
啓発活動を進める

**問** 「出水市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例」が提案されていることを評価する。避難シミュレーションの段階ではないかと思うが、今後の進め方をどう考えているか問う。

**答** 市民を対象とした訓練としては、年3回の防災訓練を実施するほか、講習会や出前講座による啓発活動を進めている。  
訓練等では、日頃の備え、災害発生時の行動、ハザードマップの活用方法及び防災・気

象情報の取得要領を解説している。

また、啓発物として、「出水市防災対策マニュアル」「出水市地震・津波対処行動マニュアル」「出水市自主防災組織活動の手引き」を各自自主防災組織、学校、障害者施設及び介護施設等に配布して、啓発活動を進めている。

その他の質問

- 介護DXについて
- ヤングケアラーについて
- 災害時の情報伝達手段について
- 災害医療について
- 災害時の水の確保について
- 住宅の耐震化について
- 避難所の整備方針について
- 防災シミュレーションについて



みちうえ まさみ 議員  
道上 正己

再生エネルギー地産  
地消に生かせないか

現時点では  
考えていない

**問** 再生エネルギーは、特に出水市では太陽光発電が設置されている。今は、九州電力と20年間の売電契約であり、数年すると契約が終わり、設置者は恐らく解体されるか、自己消費のために蓄電池を設置されるが、どちらにしても費用が伴い、できることなら「株式会社いずみみらい」で買い取り、公共施設をはじめ、関係する施設などで利用できないか見解を伺う。

問 野田地区における施設は出水市にない施設が望まれるのではないか。野田中学校西側

**答** 太陽光発電より発電された電力は晴れた昼間においては、卸売会社から調達したほうがよいと考えている。会社の事業基盤が安定したら将来的には発電量の多いところからの買取りも検討したい。



太陽光パネル

野田地区にグラウンド  
ゴルフ競技場を  
土地の活用について  
幅広く検討したい

の市有地にグラウンドゴルフ専用競技場を建設する考えはないか見解を伺う。

**答** 当該地は通称お伊勢山と呼ばれる丘陵地であり、大部分が山林で未利用地となっている。傾斜地が多い起伏のある地形であり、競技が可能な緩やかな場所が少ないことから一部を利用したグラウンドゴルフ競技場の建設は難しいのではないかと考え、また、売却などを含め幅広く検討していきたい。



未利用地となっているお伊勢山

# 人事

教育長の任命、監査委員、固定資産評価審査委員会委員3名の選任を同意し、人権擁護委員候補者推薦に対し異議なしと答申しました。

## 教育長の任命



(再任)  
大久保 哲志 氏

## 監査委員の選任



(新任)  
永江 昭登 氏

## 固定資産評価審査委員会委員の選任

(再任)  
郷元 茂 氏

(新任)  
上屋 泰弘 氏

(新任)  
徳田 克郎 氏

## 人権擁護委員候補者推薦

橋口 悦朗 氏

木村 清美 氏

佐藤 るり子 氏



# 議会の動き

## 肥薩おれんじ鉄道に係わる意見交換会

2月15日、高尾野農村環境改善センターにおいて、おれんじ鉄道等との意見交換が行われました。



## タブレットを導入しました



操作研修の様子



委員会審査での使用の様子

## 能登半島地震に対する義援金について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地へ議員1人1万円の義援金を送りました。被災地の1日も早い復旧・復興をお祈りいたします。



本会議での使用の様子

本市議会でも、ペーパーレス化を推進し、議会運営の効率化・円滑化を図るため、令和6年第1回定例会からタブレットを導入しました。

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	(広報広聴特別委員会)
道上 正己	中嶋 敏子	杉本 尚喜	田上 真由美	土屋 工吉	南鶴 洋志	田中 秀一	池田 幸弘	井伊 健一	日高 信一	

編集・発行  
議長 田上 真由美

## 政務活動費について

政務活動費の領収書、収支報告書等は7月から本庁1階エントランスホール及び出水市議会ホームページで公開予定です。

※6月定例会の日程は、次回発行の臨時号に掲載します。